

山場の場面の設定【構造化する】ピラミッドチャート

【校種・学年】 小学校第5学年

【教科・領域】 国語科

【実践の概要】

- 1 単元名 立場を変えて書きかえよう 『大造じいさんとがん』
- 2 単元の目標 自分が「山場」だと考えたところをもとに、大造じいさんの心情の変化を読み取り、大造じいさんの立場で「山場」の場面を書き換える。

3 本時の実際

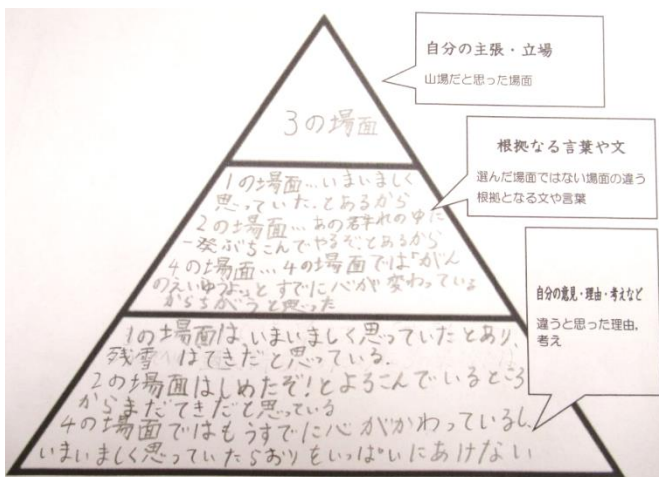
(1) 本時の目標

初めの場面と最後の場面を比べ、大造じいさんの心情の変化をとらえる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○前時の復習 ○本時にすることの確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 大造じいさんの立場で書きかえるために、山場の場面を選ぼう。 </div> ○全文音読する。	
展開	○大造じいさんが一番変わった場面を1～4場面の 中から決め、他の場面がなぜ違うのか考える。 ○「どの場面が山場か」「そう思った根拠となる叙述」「その叙述から考えたことや理由」をピラミッドチャートにまとめる。 (個人思考)	視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○全体で交流する。 ○他の教材の山場の場面を設定する。	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○ピラミッドチャートの上から下に考えていったことで、自分の主張や立場が明確になり、「どの文や言葉に着目し、そこからどんなことを考えたのか」という根拠や考えをもつことにつながった。

■思考ツールを使って考えを可視化することができたが、これを使っての交流が十分にできなかった。児童の考えに広がりや深まりをもたせられるような活用の仕方を模索していきたい。